

資料提供報告書

平成 29 年 10 月 30 日

- ・講演会・イベント名称：ノーベル賞をめざせ 子ども科学学園
- ・開催場所名称：出雲科学館
- ・主催者：出雲科学館
- ・実施日時：平成 29 年 10 月 29 日（日） 時間 10：15～16:15
- ・講演者（解説者）
隊次：国際北極環境研究センター 特任研究員
氏名：照井 健志 氏
- ・講演タイトル：IT エンジニアとデータサイエンティストが地球科学を救う
- ・参加者人数：40 名
- ・提供・貸し出しを受けた資料：北極のひみつ
南極もっと知り隊
北極観測
南極観測

・所感(出雲科学館)：

今回の講座は、科学に興味を持っている小学校 5 年生から中学校 3 年生を対象とした講座でした。北極・南極に関するクイズ等も踏まえながら、パソコンを使ってインターネットから指定されたデータを探すという実習を行いました。パソコン技術をあまり習得していない子どもたちには難しいかなと感じる内容もありましたが、映像資料や図をたくさん使用していただき、大変理解しやすい講座でした。また、子どもたちが調べ学習を行う際にも参考になる検索のポイントや HP もご紹介いただき、今後につながる内容でした。

講座終了後に個人的な質問をするためにしばらく残っていた生徒がいました。自分の将来のために、照井先生から詳しく話を聞いている姿が見られ、とても嬉しく感じました。今後の学習や進路に関わる大切な知識や技術を教えていただき、大変ありがたく感じました。

・コメント(照井 健志)

今回、小学生から中学生までに講義をしたところ、パソコンのキーボード入力自体が初めてという子供が多くいました。パソコンの習熟度を測るため、URL の手入力を行わせましたが、すべての受講生が入力を完了するまで 15 分程度の時間を要しました。それ以外に、情報の検索について、出雲市の過去の気温を検索エンジンから探すという実習を行わせましたが、全員が目的のページにたどり着くまで 20 分必要としました。一度コツをつかんでしまえば、スムーズに操作が進み、極地研で公開している Web アプリケーションを操作させて、衛星データを使った課題を行いました。

コンピュータを使った実習でしたが、2 人ペアで 1 台のコンピュータを操作させたおかげで、2 人で試行錯誤することで習熟が進みました。

講座の様子

